

科 目 名		保育内容指導法(健康)					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者		松 本 大 輔						
開 講 年 次		2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい		健康に生きていくための土台づくりが幼児期である。近年、子どもたちの心身の問題が表面化し、改めて幼児期の教育の重要性が強調されている。幼児期にふさわしい生活の展開、遊びを通して総合的な指導、一人ひとりの発達の特性に応じた指導をふまえ、本授業では子どもの健康を、からだ・こころ・遊びに視点を置いて、目的理解としての健康の基礎理論（幼児の健康と領域）、対象理解としての子どもの心身の発達（体と心の発達）、方法理解としての健康の指導内容と実践としての方法（健康な生活、安全な生活、運動遊び、幼児の保健）の内容で展開する。そのことを通して、保育の実践への基盤を構築していくことができるようにする。						
授 業 の 到達目標		1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「健康」のねらい及び内容について理解する。 2) WHO の健康の定義やヘルスプロモーションについて説明することができる。 3) 遊びと運動について説明することができる。 4) 動機づけと運動について理解し、説明することができる。 5) 健康的な生活や発育発達に関する幼児の特徴について理解し説明することができる。 6) 体力や運動能力について説明することができる。 7) 保育者の役割について理解を深めることができる。 8) 安全教育や安全管理について説明することができる。 9) 指導計画を立案し、指導案の作成ができる。 10) これからの社会において幼児に必要な「健康」について自分なりに考え発表することができる。						
学 習 方 法		講義（パワーポイントを用いて行う）・演習・グループワーク・発表						
テキスト及び参考書等		テキスト：河邊貴子編 「演習 保育内容健康」建帛社 参考書：杉原隆・湯川秀樹編 「保育内容 健康」光生館・その他の参考書は授業内で適宜紹介する						
評価基準・方法		到達目標					評価割合%	
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験								
小テスト等		○	◎					15
宿題・授業外レポート		◎	◎			○		40
授業態度			○	◎				5
受講者の発表				○		○		5
授業への参加度			◎	○				5
その他		○	◎	○		○		30
合 計		指導計画の立案、指導案作成ならびに模擬保育等						100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	オリエンテーション							
第 2 週	保育内容「健康」の意義							
第 3 週	遊びと運動							
第 4 週	動機づけと運動							
第 5 週	心身の発達と「健康」①							
第 6 週	心身の発達と「健康」②							
第 7 週	保育内容「健康」と幼児理解							
第 8 週	「健康」における保育者の役割							
第 9 週	遊び環境と運動遊びの指導							
第 10 週	幼児の健康と安全							
第 11 週	指導計画と評価							
第 12 週	領域「健康」のねらい及び内容①							
第 13 週	領域「健康」のねらい及び内容②							
第 14 週	領域「健康」のねらい及び内容③							
第 15 週	まとめ							
第 16 週								
備 考		保育者として実践を行う上での資質を高めることに役立つように展開していきます。受講生に対しては、知識の伝達ではなく、対話を繰り返しながら「健康」について一緒に考えていきたいと想います。 「授業外学習（事前学習・事後学習）の指示」 テキストの予習や配布資料等の復習を行い、受け身ではなく常に「問い」と「自分なりの考え」をもちながら積極的に参加してください。 ※授業計画の各週の授業内容はあくまで予定であり、多少の変更が出る場合があります。						